



平成 29 年 5 月 8 日

校長 落合浩一

【団結力・行動力・協力、「何のために」～1年生オリエンテーション合宿を実施～】

第9期生による1年生オリエンテーション合宿を4月26日(水)～28日(金)の日程で実施。昨年度まで三浦ふれあいの村で行っていたが、当該施設改修工事のため、今年は愛川ふれあいの村での実施となった。本行事の目的は、宿泊による共同生活を通して、基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーを学び、お互いを理解し友情を育む。そして、学級学年の団結を深めることであり、平塚中等では6年間の入口として大切にしている行事である。生徒達は、本行事の目的を達成するため、今年の合宿の目標を「団結力・行動力・協力」と決め、入村式の際に、司会進行係の生徒が全員に伝え、目標の確認を行ってからプログラムが開始された。

入村式後には係別会議を行い、班長係では班員のリードの仕方、生活係は健康チェック、食事係は野外炊事、レクリエーション係はキャンプファイヤーの進行など、それぞれの係ごとに細部にわたる打ち合わせが行われた。

その後、クラスごとに割り当てられたロッジに移動し、一息ついたところでクラスミーティングを開始、学級目標の検討に入った。一人ひとりの生徒が、「どのようなクラスにしていきたいか」といった発言をする中で、時には意見のぶつかり合いもあったことであろう。日頃、学校では話せない仲間とのコミュニケーションが取れたのではないかと。

そして、3時から合宿の中でも仲間との協力が欠かせない「野外炊事(カレーづくり)」となった。ふれあいの村の担当の方から野外炊事の

の説明を受け、調理係や火起し係に分かれて調理が始まった。各班で調理時間に差はあったが、できたカレーを

食してみると、ご飯の硬さやカレーの濃さなど、とても上手につくれていた。全ての班で「スープカレー」ではないしっかりとした味わいのカレーができたことに感心した。しかしながら、食事づくりにホッとしたのか、片付けでは、「やり直し」の班が続出。これも共同作業で見られる教訓となったと思う。

翌日は、雨の心配もあったが、予報に反して曇り空から青空が見える中、ウォークラリーを行った。一部、道に迷ったグループもあったが無事に帰村し、生徒達は昼食として配られた「から揚げ弁当」を受け取り、緑の広場で笑顔を見せながら頬張っていた。プログラムの進行と共に生徒達の顔には疲労の色が出てきている反面、少しずつ成長しているようである。

午後には、各クラスのロッジに入り、キャンプファイヤーのスタンプの練習に余念がない。そして、6時にはキャンプファイヤーを開始。開会の言葉に続き、火の神による点火式。少し早く火をつけたことにより、最後まで火が残るか心配されたが、田中先生の指導の下、ファイヤー係の蒔入れにより雰囲気満点のキャンプファイヤーを行うことができた。また、少ない練習時間ではあったが、各クラス趣向を凝らしたスタンプも行われ、クラスを超えて盛り上がることができた。

最終日は、各クラスで話し合った学年目標を発表し、9期生の総意で「何のために」という目標に決まった。9期生がこれからの学校生活で常に問い続け、答えを導き出そうとする決意表明である。人によって受け止め方や考え方に違いはあれど、6年間の生活の中で問い続けて欲しい。その繰り返しが「自分らしい生き方」の創造につながるはずだ。

